

日本史研究推進委員会

共同研究「神奈川における西洋文明との

出会い」経過報告

県立川崎高校 白川 重 敏

一四年度の日本史研究推進委員会は、三年目となる共同研究テーマ「神奈川における西洋文明との出会い」に基づいて研究活動を行った。この研究活動の根本には、地域にある史料を使って、それをどのように教材化し、授業に生かすことが出来るかを研究課題としていた。この共同研究テーマのもとに毎月一回、八月と二月を除いて、推進委員の勤務校や県内施設を使って月例会を開き、各委員がレポートを持ち寄り、その成果を秋と春の研究発表会で発表してきた。また五年目となった世界史研究推進委員会との合同研究会も実施し、グローバルな視点からの活発な討議がなされ、相互に刺激しあって密度の濃い研究会となった。八月には恒例となった夏季巡検が実施された。一四年度の活動は以下の通りである。

【月例会】

一四年度は次の会場で月例会を実施した。四月（七里ガ浜）・五月（港南台）・六月（川崎・日世合同研究会）・七月（横浜開港資料館）・九月（湘南）・一〇月（藤沢西）・十一月（高浜）・十二月（上鶴間）・一月（金沢文庫）・三月（金井）

【研究発表】

一四年度は次の発表が行われた。

○全歴研東京大会（七月三十一日～八月二日）江戸東京博物館

「壇上で脚を組んだ女性係官―上溝高女のカルチャーショック―」

白川 重敏（県立川崎高校）

○秋季研究大会（一〇月二三日）神奈川県民センター

「江戸時代の砂糖について」 鍵和田武彦（相武台高校）

「本土決戦」の教材化にむけて」 香川 芳文（伊勢原高校）

○春季研究発表会（三月二日）神奈川県民センター

「相模国における鉄砲の伝来」 武井 勝（藤沢西高校）

「明治期の横浜と『伝染病』」 新谷 桂（港南台高校）

【夏季巡検】

毎年恒例の夏季巡検を八月二六日～二七日の一泊二日の日程で実施した。今回は箱根方面を矢野慎一（金井高校）の案内で巡検した。一日目は箱根町立郷土資料館・富士屋ホテル・元箱根石仏群・石塔群歴史公園・東光庵跡ドイツ海軍准士官の墓などを詳細に解説してもらいながら回り、箱根屈指の名湯である松坂屋本店に泊まる。そこに昭和一八年から二二年までドイツ海軍兵士が滞在していたことを聞き、研修は夜まで続いた。二日目はドイツ軍兵士達が掘った「あじが池」・箱根関所資料館・箱根関所復元工事現場・箱根報国寮跡などを見学し、充実した巡検であった。なお富士屋ホテルの見学に際しては見玉祥一（上鶴間高校）の尽力によりホテル内部を案内してもらうことが出来、歴史的建造物の裏側をかいま見ることが出来た。次年度も魅力ある巡検を企画する予定である。

最後になったが、月例会の会場をご提供いただいた各高等学校、横浜開港資料館・金沢文庫に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解・ご協力をお願いする次第である。また新たなメンバーの参加もお待ちしております。